

工場の品質不良の原因と改善策～汚れ不良編～

—工場の品質課題を《源流から》共に改善するために—

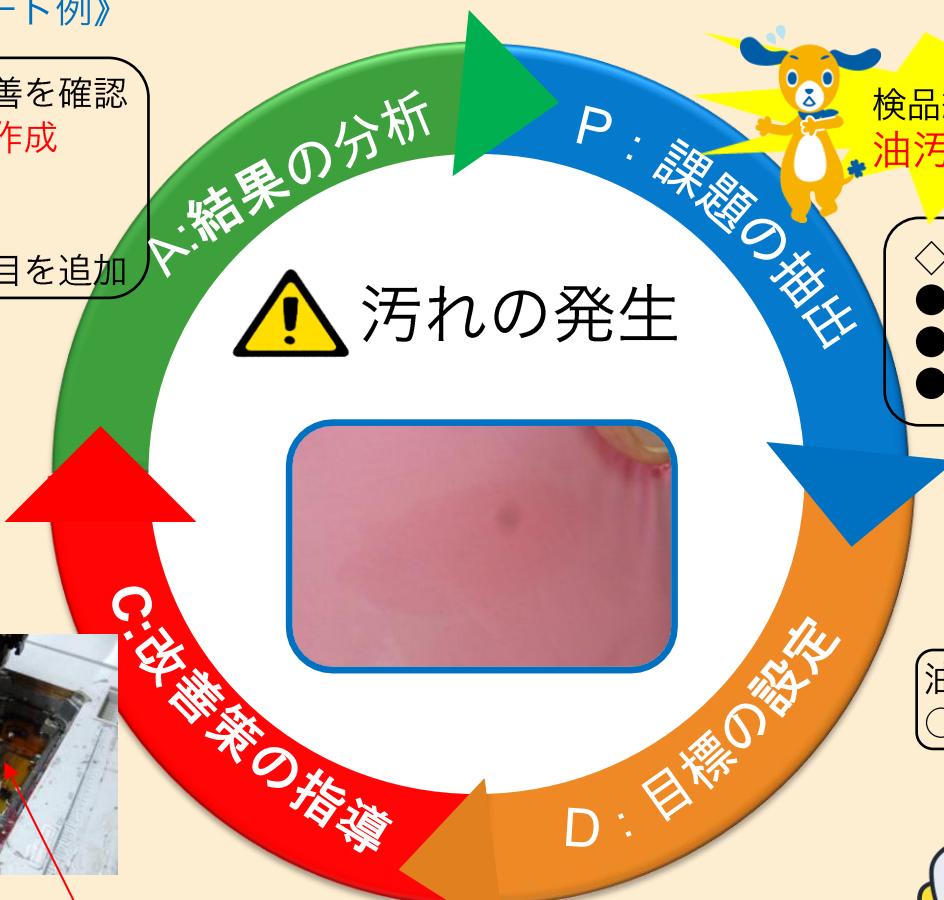
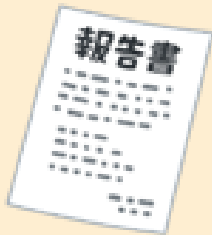


工場で起きる品質トラブルには、必ず『原因』があります。検品を強化しても不良が減らないのは、選別強化しかしておらず源流（工程や管理）に課題が残っているためです。本記事では、工場QCサポートの事例をもとに、「汚れ不良はなぜ起きるのか」「どこを見直すべきか」をわかりやすく解説します。

現状（例）：汚れ発生→汚れ落とし→出荷（これでは根本の原因を改善していません）

《工場QCサポート例》

検品結果にて改善を確認
→点検ルールの作成
日常点検に
パッキンの有無
オイル量等の項目を追加



検品結果の分析から
油汚れが多いことが判明

- ◇推測される原因◇
- 原反に油が付着
 - ミシンの整備不良
 - その他設備の不備

油汚れ
○○%削減したい



- 検反結果 異常無し
- パーツ検品 異常無し
(裁断機など問題無し)
- ミシンが疑われる**

・ミシンオイルの
入れ過ぎによる吹き出し
・パッキンの欠落 を確認



ボーケンの工場QCサポートでは、改善策が現場に根づき自発的に運用できるようになるまで経験豊富な監査員が継続的に伴走します。品質に関するお困りごとがございましたら、どうぞお気軽にご相談ください。

上記の内容についてご不明な点等ございましたら、こちらまでお問い合わせください。

繊維事業本部
品質支援課

所在地：〒552-0021
大阪市港区築港1-6-24
TEL：06-6577-0209

